

第1日目 3月26日 (金) 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
	〈特別セッション：災害地理学〉	〈地理教育〉
9:00	101 矢ヶ崎太洋（都立大）：レジリエンス概念を導入した災害地理学の展開—東日本大震災後の地域社会の復興と再編を事例に	201 杉江あい（名古屋大）：イスラームとムスリムについて教えるための2つの提案
9:20	102 鹿嶋 洋（熊本大）：災害の復旧・復興過程における経済地理学的視点—熊本地震と球磨川水害を手がかりにして	202 木場 篤*（ノートルダム清心中・高）・吉田 剛（宮城教育大）：スケール概念の活用力を高める地理授業の実践研究—中等地理教育の一貫性に着目して
9:40	103 村山良之（山形大）ほか：地形とハザードマップに関するオンライン教員研修	203 石毛一郎*（千葉県立成田国際高）・後藤泰彦（千葉県立佐倉高）：新教育課程における地理の授業時数の増減—千葉県内の公立高校について
10:00	104 松多信尚（岡山大）：倉敷市真備町岡田地区の被災伝承の取組みと地理学の貢献	204 大西有子（総合地球環境学研）：オンラインによる参加型学習のためのインタラクティブワークショップ手法の開発
10:20	105 井田仁康（筑波大）：災害教育を地理教育へどのように反映させるか	205 林 佑亮（帝国書院）：高等学校用GIS教材「アクセスWebGIS」の開発
10:40	106 中谷友樹（東北大）：COVID-19 の災害地理学	206 小倉拓郎（東京大・院）ほか：大型地形模型を用いた3Dマッピング防災教育の実践—令和元年台風19号の被災経験から
11:00	107 小野有五（北海道大・名誉）：生態学的減災（Eco-DRR）・気候変動適応策としての遊水地—千歳川遊水池群の完成と地理学	〈地図・GIS〉
11:20	108 海津正倫（名古屋大・名誉）：災害地理学の確立に向けて	207 安本晋也*（中部大）・中谷友樹（東北大）：GISを用いた客観的および認知的日照アクセスの健康影響の分析—横浜市の事例研究
11:40		208 田中絵里子*（日本大）・田中 圭（日本地図センター）：iPhone搭載のLiDAR機能を用いたバリア情報の取得とその精度検証
12:00		209 柳澤英明（東北学院大）：低価格Lidarを用いた簡易3Dスキャナースステムの構築—測量・マッピングへの応用
12:00	<p style="font-size: 2em; margin: 0;">昼 休 み</p>	

第1日目 3月26日（金） 午前

第 3 会 場		開始時刻
〈気候〉		
301	菅野洋光*（農業環境変動研）・松山 洋 （都立大）：古文書に基づく小笠原諸島 父島における1906年以前の降水量の復 元	9:00
302	永田玲奈（日本大・非常勤）ほか：過 去70年間に関東地方に襲撃した台風の 経路と強さの変化	9:20
303	谷内浩平*（立正大・院）・渡来 靖（立 正大）：関東地方における晴天日の日最 高／日最低気温出現時刻の特徴	9:40
304	鈴木パーカー明日香*（立正大）・日下 博幸（筑波大）：風台風・雨台風と比 較した「高温台風」の気候学的特性	10:00
305	堀内雅生*（法政大・院）・山口隆子 （法政大）：温暖な地域を中心とした風 穴気温と周辺気温の関係性の検討	10:20
306	中村真悟*（筑波大・院）・日下博幸 （筑波大）：まつぼり風の発生メカニズ ムと阿蘇カルデラ内の冷気層の発達	10:40
〈水文〉		
307	小寺浩二（法政大）ほか：日本にお ける河川水質の長期変動に関する水文地 理学的研究（2）—「身近な水環境の一 斉調査」第17回（2020年度）の結果を中 心に	11:00
308	Shi, M. (Hokkaido Univ., Grad. Student) et al.: Estimation of freshwater discharge from western Kamchatka Peninsula to the Sea of Okhotsk using SWAT model	11:20
〈植生〉		
309	田村 岳（都立大・院）ほか：土壌遊離 酸化鉄に着目した森林ステップエコー ンの特徴づけ	11:40
<p style="font-size: 2em; margin: 0;">昼 休 み</p>		12:00

第1日目 3月26日 (金) 午後

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
	シンポジウムS1 (公開)	〈海外地域研究〉
13:00	東日本大震災10年 —防災概念の変革期における地理学—	210 山本 充* (専修大)・中川聡史：EUにおけるモビリティの増大と都市・農村間人口移動
13:20	企画：日本地理学会災害対応委員会 [オーガナイザー] 田中 靖 (駒澤大)・八反地剛 (筑波大)・鈴木康弘 (名古屋大)	211 伊藤徹哉 (立正大)：ヨーロッパにおける交通インフラの整備を通じたモビリティの持続的発展—ミュンヘン大都市圏の事例を中心に
	開始時刻 13:00	
13:40	S101 13:00-13:15 鈴木康弘 (名古屋大)：「想定外」は回避できるか—科学と社会の相克	212 飯嶋曜子 (明治大)：EUにおける農村振興政策と農村移住—オーストリア・チロル州の事例
14:00	S102 13:15-13:30 初澤敏生 (福島大)：東日本大震災からの産業復興に地理学が果たした役割	213 飯塚 遼 (帝京大)：スコットランド・ブラックアイルにおけるモビリティの増大による農村変容
14:20	S103 13:30-13:45 村山良之* (山形大)・小田隆史 (宮城教育大)：大川小津波訴訟判決の意義	214 市川康夫 (埼玉大)：フランス田園回帰にみる農村移住の展開—郊外農村の生活と山村のオルタナティブ農業
14:40	S104 13:45-14:00 宇根 寛 (日本地図センター・非常勤)：東日本大震災からのハザードマップの展開と課題	215 桐越仁美 (国士館大)：西アフリカのムスリム商人による中国商人への商業ネットワーク拡大過程に関する考察
15:00	S105 14:00-14:15 後藤秀昭 (広島大)：「地図の力」と災害伝承	216 中辻 享 (甲南大)：ラオス山地部における70年間の土地利用・土地被覆の変化
	S106 14:15-14:30 岡谷隆基*・研川英征 (国土地理院)：地理院地図の進化	
	[質疑応答] 14:30-14:40	
	[休憩] 14:40-14:50	
	[問題提起/コメント] 14:50-16:00	〈農業・農村〉
15:20	S107 14:50-15:00 平井幸弘 (駒澤大)：ハザードマップの実践的活用のために—基礎情報としての地形分類図参照の意義と課題	217 海邊健二 (東北大)：森林資源の利活用と地域活性化に関する研究—山形県鶴岡市を事例として
15:40	S108 15:00-15:10 香川貴志 (京都教育大)：復興をめぐる都市地理学	218 小竹尊晴 (東京大・院)：農業構造再編下における臨時労働力の諸相—宮古島市のサトウキビ収穫労働の事例
16:00	S109 15:10-15:20 内山琴絵 (信州大)：効果的な災害伝承とは—災害デジタルアーカイブの可能性	
16:20	S110 15:20-15:30 久保純子 (早稲田大)：災害と土地利用規制	
16:40	S111 15:30-15:40 須貝俊彦 (東京大)：地理学が担う防災教育の意義	
	[総合討論] 15:40-16:00	
17:00	終了時刻 16:00	
	会長講演 16:30	
	表彰式 17:15	

第1日目 3月26日（金） 午後

第 3 会 場	開始時刻
〈歴史・文化〉	
310 Soliman, M. (Ritsumeikan Univ.) et al. : Geographical approach to sustaining the potential cultural heritage of Alexandria, Egypt, 2030: Visualization of the Latin Quarter for the tourism industry	13:00
311 島本多敬（滋賀県立琵琶湖博）：明治初期の滋賀県における普請所調査絵図作製事業	13:20
312 原田 歩（広島大・院）：近世城下町における寺院立地の変遷に関する研究—福井・会津若松両城下町を事例に	13:40
313 横川知司（広島大・院）：小正月の伝統行事とんどにおける“やぐら”の形状の地域差とその要因—東広島市西条町を事例に	14:00
314 岩月健吾（名古屋大・院）：「加治木のくも合戦」におけるコガネグモ採集活動の持続性	14:20
315 西村美樹（香川大）：新しい地域食文化の創造による伝統料理の継承—「さぬきOSHINUKI寿司」を例に	14:40
	15:00
	15:20
	15:40
	16:00
	16:20
	16:40
	17:00

第2日目 3月27日 (土) 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
	シンポジウムS2 (公開)	
9:00	<p style="text-align: center;">地理・社会科授業実践に必要な教師の力量とその養成 —グローバルな教員養成論から考える—</p> <p>主催：地理教育国際共同研究グループ (共催：地理教育専門委員会) [オーガナイザー] 志村 喬 (上越教育)・ 秋本弘章 (獨協大)・永田成文 (三重大) 開始時刻 9:00</p>	<p>〈経済・産業〉</p> <p>231 大野誠太 (佛教大・院)：新潟県清酒製造地域におけるブランド化と価値付け</p>
9:20		<p>232 原 真志 (香川大)：コロナ禍のクリティカルイベント学習とネガティブ能力—逆境からの回復主体の地理学</p>
9:40	<p>S201 9:00-9:10 [趣旨説明] 志村 喬 (上越教育大) ほか：グローバルにみた地理・社会科教員養成の現状と課題—シンポジウム「地理・社会科授業実践に必要な教師の力量とその養成—グローバルな教員養成論から考える—」の背景</p>	<p>〈地域計画・地域政策〉</p> <p>233 佐藤 洋 (東京大・院)：東京大都市圏における地方税の低徴収率地域の空間パターンと行財政運営</p>
10:00		<p>234 鈴木美佳 (大阪大・院)：高齢者の外出状況における地域間格差</p>
10:20	<p>S202 9:10-9:50 [Keynote (基調報告)] Walshe, N. (Anglia Ruskin Univ.) :A Geography education for the future: Challenges and opportunities for teaching education</p>	<p>235 遠藤有悟 (産業技術総合研) ほか：児童相談所の管轄地域における児童虐待の地域的差異について</p>
10:40	<p>S203 9:50-10:10 金 玟辰 (北海道教育大)：地理教育における教員養成の国際的動向：カリキュラム・メイカーとしての教師と力強い授業づくり</p>	<p>236 一ノ瀬俊明 (国立環境研) ほか：時空間ランダムウォークモデルによる感染対策の検証</p>
11:00	<p>S204 10:10-10:30 山本隆太 (静岡大)：国際的な視野からみた地理学と地理教員養成の関係—ケイパビリティとコンピテンシーの対比</p>	<p>〈政治・社会〉</p> <p>237 三浦尚子 (埼玉大・非常勤)：コロナ禍における牛久入管収容所被収容者の生活状況とメンタルヘルス</p>
11:20	<p>S205 10:40-11:00 伊藤直之 (鳴門教育大)：教科観の相対化を図る教員養成—地理で社会正義を教える場合</p>	<p>238 大塚隆平 (近畿大・院)：英語圏の地理学における男性身体研究の動向</p>
11:40	<p>S206 11:00-11:20 広瀬雄三 (京都大)：地理教育における教員養成の教育哲学的意味—ケイパビリティの創出がもたらすもの</p> <p>[コメント] 11:20-11:30 阪上弘彬(兵庫教育大) [総合討論] 11:30-12:00</p>	<p>〈地理思想・方法論〉</p> <p>239 大竹あすか (お茶の水女子大・院)：都市コモンズにおけるスケール分析の意義—渋谷区宮下公園に関する論争を事例として</p>
12:00	<p>昼 休 み</p>	

第2日目 3月27日（土） 午前

第 3 会 場		開始時刻
〈災害〉		
331	木村ひなた（名古屋大・院）：熊本地震の地表地震断層の詳細分布を考慮した特性化震源モデルの改良と変位波形計算	9:00
332	連 美綺（国立環境研）：地震災害に対する脆弱性の時空間分析—東京都墨田区を例として	9:20
333	黒木貴一（関西大）ほか：令和2年7月豪雨時の人吉市の災害と地形条件	9:40
334	近藤有史（東北大・院）ほか：豪雨による表層崩壊の発生機構に及ぼす斜面の浅層構造の影響—阿武隈山地北部の花崗岩および花崗閃緑岩を基盤とする山地間の比較	10:00
335	松山周一（筑波大・院）：長野県上田市およびその周辺における2019年台風19号を要因とする鉄道の被災と復旧過程	10:20
336	岩船昌起（鹿児島大）：鹿児島県市町村避難所での2020年台風10号時運営と新型コロナウイルス感染症対策	10:40
337	篠田雅人（名古屋大）：人類と砂漠化—歴史的概観	11:00
〈地形〉		
338	井上 穰（新潟大・院）ほか：上越地区、雁平地すべり地形の地表面変化	11:20
339	吉村亮志*（新潟大・院）・奈良間千之（新潟大）：飛騨山脈北部、白馬大雪溪における雪渓崩落	11:40
昼 休 み		12:00

第3日目 3月28日 (日) 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
	シンポジウムS3 (公開)	〈観光〉
9:00	世界地誌学習の新たな方向性 —アメリカ地誌から多文化共生社会を 考える—	261 渡邊瑛季 (宇都宮共和大) : 北海道十勝におけるスポーツイベントによるスケート文化の強化
9:20	主催 : 日本地理学会地理教育公開講座委員会 共催 : 日本地理教育学会 〔オーガナイザー〕 田部俊充 (日本女子大) ・ 矢ヶ崎典隆 (日本大) ・牛垣雄矢 (東京学芸大)	262 小島大輔 (大阪成蹊大) : 1995年ユニバーシアード大会を活用した福岡市の国際都市づくり
9:40	開始時刻 9:00	263 和田 崇 (県立広島大) : 広島市でスポーツイベントを開催することの意義
10:00	S301 9:00-9:20 〔企画趣旨〕 田部俊充 (日本女子大) : 世界地誌学習の新たな方向性—アメリカ地誌から多文化共生社会をめざす地理教育	264 杜 国慶* (立教大) ・田中雄大 (立教大・学) : 観光者ロコミに見るサイクルツーリズムの目的地イメージ要素—しまなみ海道を事例として
10:20	S302 9:20-9:40 牛垣雄矢 (東京学芸大) : 東京の都市地理学研究から考えるアメリカ地誌	265 塩崎大輔* (北星学園大・非常勤) ・橋本雄一 (北海道大) : ニセコエリアにおけるスキーリゾート開発と不動産所有の変化
10:40	S303 9:40-10:00 矢ヶ崎典隆 (日本大) : 地誌学の視点・方法とアメリカ地誌	266 町田知未 (日本大・院) : 北海道中川町における地域資源の観光利用に至る過程と主体間の相互関係
11:00	S304 10:00-10:20 藤塚吉浩 (大阪市立大) : ニューヨーク市ブルックリン北部におけるジェントリフィケーションと地誌学習	267 于 燕楠 (都立大・研) : 富山県に訪れる台湾と中国の旅行商品のネットワーク構造
11:20	〔休憩／質疑応答〕 10:40-11:10 S305 10:20-10:40 三橋浩志 (文部科学省) : 新学習指導要領と世界地誌学習の方向性—アメリカ地誌学習を中心に	268 池田千恵子 (大阪成蹊大) : 外国人宿泊客の増加と地域の変容—兵庫県城崎温泉を事例として
11:40	〔発表者から一言〕 11:30-11:45 〔挨拶・次回予告〕 11:45-12:00 終了時刻 12:00	269 孫 玉潔* (北海道大・院) ・渡辺悌二 (北海道大) : ネパール、サガルマータ (エベレスト山) 国立公園およびバッファゾーンにおける観光関連施設のエネルギー源の変化
12:00	<div style="text-align: center;"> <p>昼 休 み</p> </div>	

第3日目 3月28日（日） 午前

第 3 会 場		開始時刻
<p>(地形)</p> <p>361 杉山博崇（新潟大・院）ほか：北アルプス北部，白馬大雪渓周辺における岩盤斜面の地形変化</p> <p>362 有江賢志朗（新潟大・院）ほか：飛騨山脈の氷河の質量収支振幅</p> <p>363 奥山 駿（新潟大・院）ほか：中央アジア・天山山脈に位置する氷河起源型岩石氷河の形成環境</p> <p>364 鈴木毅彦*（都立大）・寺山 怜（都立大・院）：伊豆大島東岸，フノウの滝周辺の湖成層とテフラからみた伊豆大島火山先カルデラ山体の発達史</p> <p>365 佐野 亘（九州大・院）ほか：琉球列島における古海草帯指標堆積物に関する研究</p> <p>366 木村 颯（九州大・院）ほか：与那国島における海食崖の後退過程—高解像度三次元モデルを用いた地形解析</p> <p>367 高波紳太郎（明治大・学振DC）：沈墮滝の後退による大野川中流域における段丘発達</p> <p>368 鹿島 薫（九州大）ほか：韓半島西岸交易都市唐城（タンソン）の成立と放棄をもたらした自然科学的背景</p> <p>369 中田 高（広島大・名誉）ほか：ALOS 30 DSMアナグリフ画像を用いたイランの活断層マッピング（予報）</p>		<p>9:00</p> <p>9:20</p> <p>9:40</p> <p>10:00</p> <p>10:20</p> <p>10:40</p> <p>11:00</p> <p>11:20</p> <p>11:40</p> <p>12:00</p>
<p>昼 休 み</p>		

第3日目 3月28日 (日) 午後

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
	シンポジウムS4 (公開)	
13:00	<p style="text-align: center;">新しい地理教育のスタートに向けて</p> <p>主催：日本学術会議地域研究委員会・地球惑星科学委員会合同地理教育分科会，日本地理学会 共催：地理学連携機構</p> <p style="text-align: center;">開始時刻 13:00</p> <p>S401 13:00-13:10 [趣旨説明] 井田仁康 (筑波大) ほか：公開シンポジウム 新しい地理教育のスタートに向けて</p> <p>S402 13:10-13:40 [提言] 矢野桂司 (立命館大)：『「地理総合」で変わる新しい地理教育の充実に向けて—持続可能な社会づくりに貢献する地理的資質能力の育成—』の概要</p> <p>S403 13:40-14:10 橋本幸三 (京都府教育委員会)：地理教育への期待</p> <p>S404 14:10-14:40 中嶋則夫 (国立教育政策研)：「地理総合」・「地理探究」の具体像</p> <p>S405 14:40-15:10 濱野 清 (広島県立教育センター)：改訂学習指導要領において地理に求められたこと</p> <p>[休憩] 15:10-15:20</p> <p>S406 15:20-15:50 片桐寛英 (山形県教育庁)：新しい地理教育への期待と課題</p> <p>S407 15:50-16:20 小林正人 (東京都教育庁)：都立高校における教育環境の整備と地理総合</p> <p>[総合討論] 16:20-16:55 [司会] 井田仁康 (筑波大) [コメンテーター] 由井義通 (広島大) [閉会の挨拶] 16:55-17:00 久保純子 (早稲田大)</p> <p style="text-align: center;">終了時刻 17:00</p>	<p>〈人口・行動〉</p> <p>270 柴辻優樹 (慶應大・学振DC)：東日本大震災後における母子世帯の被災地からの居住地移動</p> <p>271 久井情在 (国立社会保障・人口問題研)：大都市部・中小都市部・農山漁村地域への将来の人口移動—「第8回人口移動調査 (2016)」の結果から</p> <p>272 勝又悠太郎 (広島大)：インド・ウッタール・プラデーシュ州における人口動態の特徴—センサスデータを用いた分析</p> <p>273 住吉康大 (東京大・院)：日本における「脱定住化」の地理学的研究の可能性—観光以上，移住未満？</p> <p>274 木下礼子 (無所属)：中山間地における家族介護者の日常生活と行動—長野県飯田市の事例</p> <p>275 埴淵知哉 (東北大)：大規模オンラインサーベイによる地理的マルチレベルデータの構築 (1) —調査方法と調査項目に関する概要</p> <p>276 畔蒜和希 (明治大・院)：東京大都市圏郊外における保育士の職業キャリアとライフコース</p> <p>277 島田広之 (大阪大・院)：大阪府における中古戸建て住宅の立地とその多様性</p> <p>278 豊田哲也 (徳島大)：市町村別データを用いた住宅地地価の形成要因分析—所得の地域格差と世帯密度の影響に注目して</p> <p>279 曹 奕 (大阪大・院)：地域格差からみた都市郊外地域の持続性について—近畿大都市圏を事例に</p> <p>〈都市・交通〉</p> <p>280 柴田卓巳 (東京大・学)：人口稀薄地域における鉄道と路線バスの競合問題—北海道美深町を事例に</p> <p>281 吉原圭佑 (法政大・院)：航空貨物流動動態からみる都市ネットワーク構造の変遷</p>
13:20		
13:40		
14:00		
14:20		
14:40		
15:00		
15:20		
15:40		
16:00		
16:20		
16:40		
17:00		

第3日目 3月28日（日） 午後

第 3 会 場		開始時刻
(特別セッション：国立公園)		
370	チャクラバルティー アビック（和歌山大）：保護「機能」に着目した21世紀の国立公園の役割の分析	13:00
371	目代邦康（東北学院大）：再生可能エネルギー発電事業による乱開発が自然公園に与える影響	13:20
372	高岡貞夫（専修大）：生物多様性の保全にむけたジオダイバーシティのとらえ方—中部山岳国立公園の事例	13:40
373	島津 弘（立正大）：地形プロセスを考慮した国立公園管理の重要性	14:00
374	山本清龍（東京大）：基金を活用した国立公園の資源管理と制度に関する研究—日光国立公園奥日光地域と富士山の事例から	14:20
375	王 婷*（北海道大・院）・渡辺悌二（北海道大）：大雪山国立公園における無管理のキャンプサイトで見られた諸問題の解決についての提言	14:40
376	渡辺悌二（北海道大）ほか：山岳国立公園の登山道管理はいかにすべきか—中国の国立公園の登山道の現状調査から	15:00
377	武田 泉（北海道教育大）：大雪山国立公園十勝三股の林鉄修理庫保存をめぐる各アクターによる攻防と地域指定性国立公園制度	15:20
		15:40
		16:00
		16:20
		16:40
		17:00

第1～3日目 3月26・27・28日(金・土・日)

ポスター会場

ポスター発表

ポスター発表は、3月26日(金)9時～3月28日(日)24時まで、ポスター会場(Web版 Dropbox)で行います。発表者による説明は、3月27日(土)14時～16時の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。3月26日(金)9時よりポスターへのコメントが可能になります。発表者はコメントに対して回答をお願いします。ポスター会場へのアクセスは3月28日(日)24時に終了します。

P001	藪島 誠*(法政大・学)・小寺浩二(法政大)：北海道・積雪寒冷地における河川結氷のメカニズム	P014	三浦エリカ(法政大・学)ほか：石垣島の水環境に関する研究(1)
P002	千葉 晃(練馬区立石神井西中)：東京都内アメダス地点における「快適な気温=20.0～24.9℃」の出現頻度—2020年暦年のデータによる	P015	本間夏実(新潟大・学)ほか：キルギス共和国、南イニルチェック氷河における湖盆の地形変化
P003	安倍啓貴(筑波大・学)ほか：神戸市南部における六甲おろしの実態と風速の地域性	P016	深田愛理*(新潟大・学)・奈良間千之(新潟大)：北アルプス、白馬連山における周氷河性平滑斜面の違い
P004	大川沙羅(日本大・学)ほか：令和元年東日本台風による多摩川下流、世田谷区玉堤地区の浸水範囲と浸水深	P017	梶山貴弘(日本大)：UAVと衛星画像を用いたカラコラム山脈パター氷河の変化
P005	岩佐佳哉*(広島大・学振DC)・熊原康博(広島大)：広島県内の平成30年7月豪雨災害の水害碑の特徴と建立の経緯	P018	岩瀬東吾(明治大・学)：赤石山地における山向き低崖の分布規定要因と山地の地形発達における位置づけ
P006	梶原拓人*(都立大・学)・川東正幸(都立大)：仙台平野の海岸林におけるクロマツの生育概況の把握および植栽基盤の土壌特性との関係	P019	宮本 樹(東京大・院)ほか：関東平野中央部における最終間氷期海成層の高度分布
P007	竹本統夫*(法政大・院)・小寺浩二(法政大)：スウェーデンの水環境における農地拡大の影響に関する研究	P020	佐藤 浩(日本大)ほか：2018年胆振東部地震被災域における岩盤地すべりの断層からの距離のGIS解析
P008	鈴木秀和*(駒澤大)ほか：天明噴火災害からの復興に果たした鎌原用水の役割とその後の利用	P021	大神勇人(早稲田大・院)：高知県四万十川における穿入蛇行の特色と成因—DEMデータと空中写真判読による検討
P009	小田理人*(法政大・学)・小寺浩二(法政大)：多摩川水系浅川の水質に関する水文地理学的研究(2)	P022	金 幸隆(大阪市立大)ほか：紀伊半島最南部、ドローン測量に基づく海陸統合型の標高データの取得と海岸・浅海底の地形分類
P010	乙幡正喜*(法政大・院)・小寺浩二(法政大)：狭山丘陵の水環境に関する水文地理学的研究—河川源流域の汚染源を中心に(2)	P023	高田協平(琉球大・学)ほか：沖縄島与座岳周辺における地形・地質別にみた残丘の形態的特徴
P011	李 恩(法政大・学)ほか：新河岸川流域の水質変化に関する水文地理学的研究—「身近な水環境全国一斉調査」2013年～2020年を中心に	P024	松本誠子(早稲田大・院)ほか：広島県太田川デルタ形成への人為的影響の検討—上流部でのたたら製鉄に注目して
P012	黒田春菜*(法政大・学)・小寺浩二(法政大)：猪苗代湖集水域の水循環に伴う物質収支に関する研究(2)—中性化問題に焦点をあてて	P025	宇津川喬子(立正大)：飽和した円磨度は何を意味するのか—砂礫の生産作用に注目して
P013	山形えり奈*(法政大・学)・小寺浩二(法政大)：阿武隈川流域の水環境に関する研究(3)	P026	植村円香(秋田大)：ハワイ島コナにおけるコーヒー生産の変容とその課題
		P027	原 裕太(東京大)：中国北部における雑穀生産の現状と可能性—河北省蔚県の食用アワを事例に

第1～3日目 3月26・27・28日(金・土・日)

ポスター会場

ポスター発表

ポスター発表は、3月26日(金)9時～3月28日(日)24時まで、ポスター会場(Web版 Dropbox)で行います。発表者による説明は、3月27日(土)14時～16時の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。3月26日(金)9時よりポスターへのコメントが可能になります。発表者はコメントに対して回答をお願いします。ポスター会場へのアクセスは3月28日(日)24時に終了します。

P028	桐村 喬*(皇學館大)ほか:ロシア・サハ共和国における2000年代以降の人口動向	P042	伊藤直之*(鳴門教育大)・光山明典(鳴門教育大・院):吟味する力を育む地理的分野の授業開発と実践—中学校社会科における市民としての基礎力育成をめざして
P029	市川 聖(島根県立大・研究員):極東ロシア地域における地域間格差に関する一考察—サハリン州を中心とした経済動向	P043	山内洋美(宮城県仙台西高):地域の課題を発見できる“ミステリー”教材の開発と実践
P030	松井恵麻(大阪市立大・院):空間概念に基づいたアートプロジェクトの再解釈	P044	瀧本家康*(宇都宮大)・川村教一(兵庫県立大):地理院地図を用いた水害の探究実習の実践
P031	高野誠二(東海大):山川出版社発行の都道府県別「全国歴史散歩シリーズ」の歴史・地理における情報としての評価	P045	櫛引素夫(青森大)ほか:整備新幹線は北東北と九州をどう変えたのか—開業10年目の検討
P032	上杉昌也(福岡工業大):1990年代以降の所得と職業構造の分極化に関する地域分析	P046	岩谷恭弥(立正大・院):高度経済成長期以降の熊谷駅を中心とした乗合バス路線網の変容
P033	山本涼子(traNeco)ほか:2020年国勢調査の回答状況における都市・農村格差	P047	海部 想*(東京大・学)・横山ゆりか(東京大):郊外戸建住宅地における徒歩時間に基づく駅圏と住宅更新との関係の考察—横浜市営地下鉄ブルーラインの延伸計画を事例として
P034	谷本 涼*(学振PD・東北大)・埴淵知哉(東北大):大規模オンラインサーベイによる地理的マルチレベルデータの構築(2)—集計結果の概要	P048	田中健作(高知大):高知県仁淀川町におけるバス交通に対する住民意見
P035	小本修司(大阪市立大・院):小学校の統廃合の第三の論理	P049	両角政彦(都留文科大):種苗類の輸入規制緩和後における主要産地の構造変動—ユリの球根と切花を事例に
P036	西出 覚*(大台町)ほか:三重県大台町の持続可能な柚子プロジェクト	P050	浦山佳恵(長野県環境保全研):伊那谷における蜂の子食慣行のいま
P037	矢嶋 巖*(神戸学院大)・山崎 望(神戸学院大・学):ふるさと納税と地域活性化—高知県香南市を事例に	P051	中條暁仁(静岡大):過疎山村に出現する無居住寺院の実態とその対応
P038	木村義成(大阪市立大)ほか:地理学は救急医療にどのように貢献できるか?	P052	北西諒介*(京都大・院)・夏目宗幸(京大・学振DC):武蔵野の新田村落名にみる「前」の意味に関する考察
P039	谷 謙二(埼玉大):Webブラウザ上で動作する地理教育用GIS「MANDARA JS」の開発		
P040	細井将右(地図情報研):19世紀プロイセン陸地測量部(ドイツ)と日本		
P041	金田宏樹(弘前大・院):高校地理における地理的な見方・考え方を働かせる授業実践—生徒GIS実践型授業を例として		